

じょう か ま ち た か だ

城下町高田地区

(新潟県上越市)

- 計 画 期 間 平成 30 年度～令和 2 年度
- 面 積 580 h a
- 交付対象事業費 457.9 百万円
- 市人口 185,892 人

ポイント

地方再生コンパクトシティモデル都市選定事業

- 100 年建築等の既存ストック活用
- 官民・政策間の連携
- 担い手育成
- 回遊観光・経済基盤強化
- 街なか居住によるコンパクトシティの推進

地区概要

城下町に残る築 100 年以上の建築物のうち 3 つ（映画館・料亭・町家）を核に、エリアを回遊させて稼げるまちづくりに向け、官民・政策連携で街なか回遊観光サインの戦略を策定・導入するとともに、町家等のリノベーションを通じて担い手の育成等に取り組み、民間活動収益を街に還元する稼ぐスキームを構築。人口の社会増、町家リノベ店舗数増加を目指す。

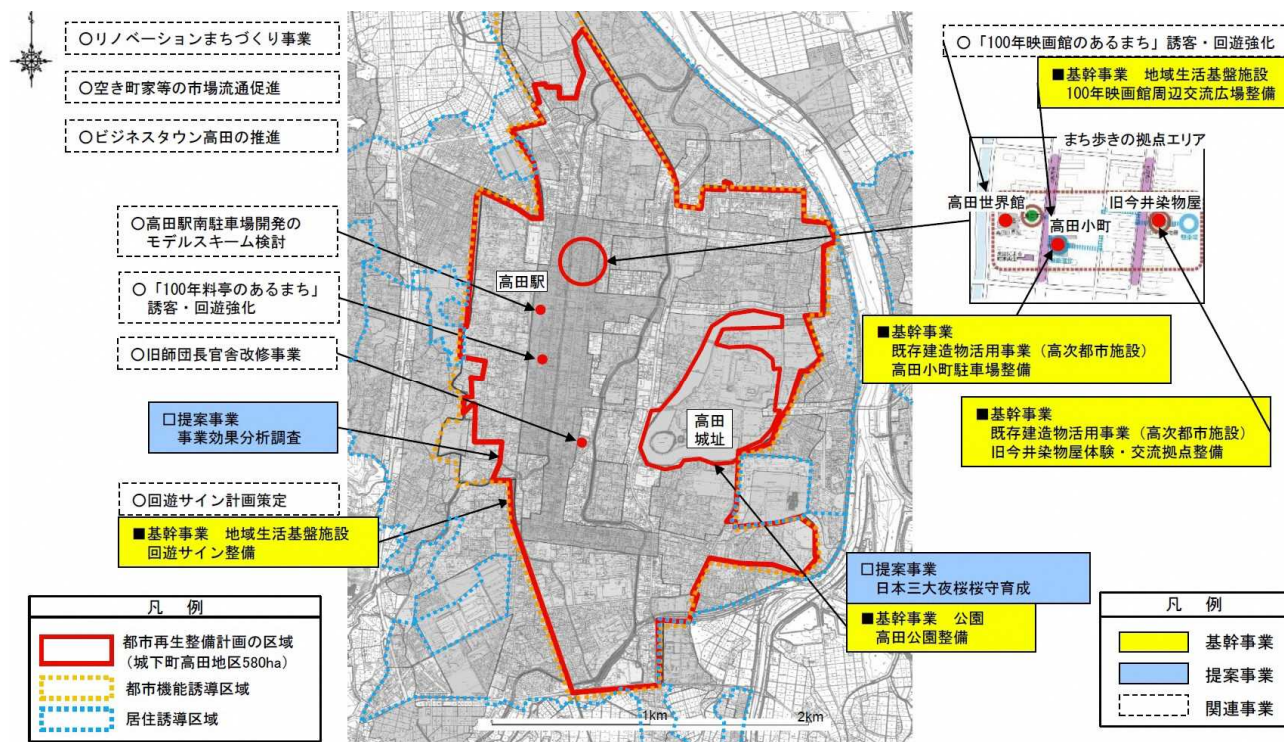
目 標 城下町高田の歴史・文化をいかした街なかの魅力向上やエリアの回遊促進により、街なか居住の推進と交流人口の拡大を図る。

指 標 街なか居住と交流人口の変化に関し、空き物件数や人口等から効果を計測するため、エリア内の人口の社会減数、空き家等の数及び観光客入込数を指標とした。

項目	従前値	目標値	評価値
高田区の人口の社会減の解消数	0 人/年 (H27) →	48 人/年 (R2) →	244 人/年 (R2)
新たに入居した空き家、空き店舗の数	0 件/年 (H27) →	10 件/年 (R2) →	13 件/年 (R2)
高田区の街なかの観光客入込数	228,971 人/年 (H27) →	428,200 人/年 (R2) →	242,103 人/年 (R2)

事業内容

基幹事業（457.9 百万円）→ 公園（高田公園整備 50.6ha）、地域生活基盤施設（100 年映画館周辺交流広場整備 350 m²、情報板（回遊サイン整備））、既存建造物活用事業（旧今井染物屋体験・交流拠点整備 延床 441 m²、高田小町駐車場整備 698 m²）



地区の現況と課題

現況

- 歴史的市街地としての高田
 - ・城下町の個性的な街並みが現存
 - ・上越地域で最も都市機能が集約される既成市街地
- まちづくりの機運の高まり
 - ・20余りの市民団体のまちづくり活動
 - ・知名度の高い活動の芽生え
- 土地・建物の市場での流通課題
 - ・城下町特有の狭隘道路 ・間口が狭く奥行きが狭い宅地
 - ・人口流出による空き家増加 ・郊外化による空き店舗の増加
- 日常的なにぎわい低下
 - ・イベント頼りの観光 ・歴史・文化資産の利活用

課題

- ①街なか居住の促進
 - ・城下町の町割りをいかした居住促進
 - ・不動産市場での町家の流通促進
- ②街を支える経済基盤の強化
 - ・街なか回遊観光の強化 ・城下町の魅力を磨く景観形成の促進
 - ・ビジネスタウン高田の推進
- ③街の活力を生み出す新しい交流の創出
 - ・地域間交流の促進 ・地域内交流の促進
- ④多様な担い手の連携・協働促進
 - ・①～④と連動した担い手づくり

計画策定プロセス

経過

- H26 高田藩開府 400 年
- H27. 3 北陸新幹線開業（上越妙高駅）
- H28. 4 地方創生関連の先行事業に着手
→ 地方創生加速化交付金事業の開始
- H28. 8 地域再生計画の認定
→ 地方創生推進交付金事業・拠点整備交付金事業の開始
- H29. 9 「城下町高田の歴史・文化をいかした『街の再生』」
事業推進計画の策定
- H30. 3 地域再生計画の見直し・都市再生整備計画の作成
→ 地方再生コンパクトシティのモデル都市認定



「100 年映画館のあるまち」誘客・回遊強化（高田世界館）



100 年映画館周辺交流広場整備



旧今井染物屋（100 年町家）体験・交流拠点整備



高田公園整備事業

